

招聘講演

1. 高津聖志：免疫のしくみと医薬品開発への応用。富山県医薬品連合会特別講演，2007，5，24，富山。
2. 高津聖志：免疫と炎症の制御：動物モデル実験から学んだこと。北陸実験動物研究会特別講演，金沢大学医学部，2007，6，2，金沢。
3. Takatsu K. : Molecular basis of IL-5 and its receptor system in the immune system and inflammation. BioWA-MedImmune Joint Seminar, 2007, 7, 16, Rockeville, MD, USA.
4. Takatsu K. : Interleukin-5 and its receptor system in health and disease. International Eosinophil Society 2007, 2007, 7, 21, Snowbirds, UT, USA.
5. 高津聖志：免疫バイオ研究と創薬探索。医療薬学フォーラム 2007，2007，7，14，山形。
6. 高津聖志：免疫バイオ研究と創薬探索。免疫サマースクール 2007：未来への架け橋，2007，8，30，福岡。
7. 長井良憲：Toll-like receptor による自然免疫・造血分化制御。佐賀血液・免疫研究会，2007，9，21，佐賀。
8. 高津聖志：免疫とアレルギー疾患 - 基礎から治療薬の作用機序まで -，富山県薬剤師会「薬と健康の週間」記念講演，2007，10，20，富山。
9. Takatsu K. : P25 TCR transgenic mice that recognize and respond to dendritic cells infected with human *M. tuberculosis*, Center for Biomedicine, University of Basel, 2007, 10, 24, Basel, Switzerland.
10. Takatsu K. : Immunobiology of Ag85B and Peptide-25 of *M. tuberculosis* Th1 induction and adjuvant activity, Roche Research Institute, 2007, 10, 25, Basel, Switzerland.
11. 高津聖志：免疫のしくみと抗体医薬。平成 19 年度富山県試験研究機関研究員交流会 基調講演，2007，10，29，富山。
12. 高津聖志：自然免疫と獲得免疫の接点：IL-5 の役割となど。平成 19 年度厚生労働省免疫難病「免疫不全症とその治療」特別講演，2007，11，30，富山。
13. Takatsu K. : Role of IL-5 in the allergic Inflammation, World Allergy Congress 2007, 2007, 12, 4, Bangkok, Thailand.

14. Takatsu K. : Ag85B of *M. tuberculosis* : a unique immunomodulatory activity for the control of acquired immunity. U.S.-Japan Immunology Board Meeting, 2008, 1, 25, Galveston, TX, USA.
15. 高津聖志 : アレルギー性疾患とサイトカイン. 富山大学薬窓会富山支部会 特別講演, 2008, 6, 3, 富山.
16. 高津聖志 : 免疫とアレルギーのはなし. 第7回国際天然薬物と消化管エコロジーシンポジウム 市民公開講座, 2008, 8, 3, 富山.
17. 高津聖志 : 免疫の仕組みと創薬探索 - IL-5 と結核菌研究から学んだこと. 免疫サマースクール 2008, 2008, 8, 26, 南あわじ.
18. 高津聖志 : 免疫・アレルギーの現在そして近未来. フォーラム富山「創薬」第26回研究会「免疫・炎症とアレルギーをターゲットにした創薬」, 2008, 9, 26, 富山.
19. 長井良憲 : Toll-like receptor による自己免疫・アレルギー制御. フォーラム富山「創薬」第26回研究会「免疫・炎症とアレルギーをターゲットにした創薬」, 2008, 9, 26, 富山.
20. Takatsu K. : Role of IL-5 in the immune response and inflammation. 4th FIMSA Congress, October, 2008, 10, 20, Taipei, Taiwan.
21. Takatsu K. : Drug Manufacturing and Innovative Drug Discovery in Toyama - Search for Immunoregulatory molecules. JETRO Swiss-Japanese Business Information Seminar, Life Science Sector, 2008, 11, 13, Geneva, Switzerland.
22. 高津聖志 : 結核とサイトカイン. 免疫未来セミナー 市民公開講座, 日本科学未来館, 2009, 5, 2, 東京.
23. 高津聖志 : 結核菌成分のアジュバント活性と創薬探索. 免疫サマースクール 2009, 淡路夢舞台, 2009, 7, 12, 淡路.
24. 長井良憲 : TLR と会合分子による自然免疫制御. 第36回北陸実験動物研究会 特別講演, 富山大学生命科学先端研究センター, 2009, 9, 5, 富山.
25. Takatsu K, Kariyone A, Ikutani M, Honda H, Hirai Y, Nagai Y. : Molecular Basis of Immune Response and Inflammation : Effects of Herbal Natural Products. The 12th International Symposium on Traditional Medicine : Establishment of Scientific Platform for Natural Medicine, 2009, 11, 26, Toyama.

26. 長井良憲：TLR と会合分子による自然免疫制御，第 1 回富山肝脂質研究会 特別講演，富山大学部，2010，2，富山.
27. 高津聖志：免疫アジュバントと抗腫瘍免疫．宮城県立がんセンター研究所特別セミナー，2010，9，10，名取.
28. 長井良憲：自然免疫システムによる慢性炎症の制御．第 1 回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム，富山国際会議場，2010，10，13，富山.
29. 高津聖志，長井良憲：自然炎症：免疫制御との接点，第 12 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム，富山国際会議場，2011，6，18，富山.
30. Takatsu K. : Identification of innate IL-5-producing cells that promote eosinophil recruitment and contribute to antitumor immunity. 7th BIENNIAL SYMPOSIUM of the INTERNATIONAL EOSINOPHIL SOCIETY, 2011, 6, 21-25, Quebec City, Canada.
31. 高津聖志：免疫と自然炎症の接点：創薬探索へのアプローチ．第 13 回免疫サマースクール 2011，ラフォーレ蔵王，2011，8，4，蔵王.
32. Takatsu K. : Adjuvant activity of Ag85B protein of *M. tuberculosis* on CTL generation. In “Infectious Diseases of Global Impact”, BioValley Science Day, BioValley Life Sciences Week 2011, Congress Center Basel, 2011, 9, 20, Basel, Switzerland.
33. 長井良憲：メタボリック症候群における自然免疫制御機構．第 32 回富山大学和漢医薬学総合研究所特別セミナー，富山県民会館，2011，12，10，富山.
34. 高津聖志：免疫と自然炎症の接点：創薬探索へのアプローチ．第 14 回免疫サマースクール 2012，ラフォーレ那須，2012，7，24，那須.
35. 高津聖志：プロフェッショナルとは - 研究生生活から学んで，伝えたいこと - . 富山大学同窓会連合会 2012，名鉄富山ホテル，2012，8，2，富山.
36. 渡邊康春：脂肪組織の自然炎症における RP105/MD-1 の機能解析，伊香保 BS の会・第 2 回多分野交流会 地方から世界へ ～これからの日本の学術研究発展のために～. 群馬大学医学部刀城会館，2012，8，25，前橋.
37. Ikutani M, Yanagibashi T, Takatsu K. : Identification of innate IL-5-producing cells and their roles in antitumor immunity. BioVally Science Day / Basel Toyama Symposium, 2012, 9, 25, Basel, Switzerland.

38. Honda H. : Molecular basis of regulatory effect of natural products on innate immunity. BioVally Science Day / Basel Toyama Symposium, 2012, 9, 25, Basel, Switzerland.
39. Nagai Y, Watanabe Y, Takatsu K. : Regulation of adipose tissue inflammation by TLR family protein RP105/MD-1. IEIIS2012 Homeostatic Inflammation Symposium, 2012, 10, 24, Tokyo.
40. 高津聖志：免疫と自然炎症の接点：創薬探索へのアプローチ。第15回免疫サマースクール2013, 2013, 7, 31, 福岡。
41. 高津聖志：免疫と自然炎症の接点：創薬探索へのアプローチ。第16回免疫サマースクール2014, 2014, 7, 30, 小豆島。
42. 生谷尚士：新規リンパ球の同定とアレルギー性炎症。第3回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム, 2014, 8, 12, 富山。
43. 高津聖志：免疫・炎症制御を活用した和漢薬の薬効解明への挑戦 - 甘草成分によるインフラマソームの制御と肥満抑制効果 -。国立医薬品食品衛生研究所 特別講演会, 2014, 9, 30, 東京。
44. 高津聖志：Revisiting the identification of IL-5 and IL-5R : IL-5-producing innate lymphoid cell and its role in the immunity and inflammation. The 5th IRCMS Ad-Hoc Seminar, 2015, 7, 13, 熊本。
45. 高津聖志：自然免疫と炎症を制御する天然物：創薬探索へのアプローチ。第17回免疫サマースクール2015, 2015, 7, 23, 淡路。
46. 長井良憲：メタボリック症候群と慢性炎症：炎症を改善する天然薬物の探索。とやま市民公開講座「慢性炎症疾患の発症・進行と制御」, 2015, 10, 3, 富山。
47. 高津聖志：免疫・炎症の接点：サイトカイン研究から学ぶこと。さきがけ「炎症の慢性化機構の解明と制御」研究領域第10回領域会議 特別講演, 2015, 12, 18, 滋賀。
48. 高津聖志：研究のおもしろみと奥深さ：天然物による免疫・炎症の調節から学ぶこと。平成27年度第2回富山県薬学技術公務員協会若年者研修会, 2016, 1, 28, 富山。
49. 長井良憲：慢性炎症における自然免疫系と代謝内分泌系とのクロストーク。和漢医薬学総合研究所 東西医薬学交流セミナー, 2016, 4, 12, 富山。

50. 長井良憲：Toll-like receptor 7 を標的とした自己免疫病治療薬の実用化研究. 富山大学産学交流振興会総会, 2016, 4, 18, 富山.
51. 岡本直樹：Toll 様受容体 7 を標的とした自己免疫病治療薬の創薬研究. 第 43 回研究会フォーラム富山「創薬」, 2016, 5, 12, 富山.
52. 長井良憲：自然免疫を標的とした慢性炎症治療薬の創薬研究. 第 62 回薬事研究会総会特別講演, 2016, 5, 23, 富山.
53. 高津聖志：インフラマソームの活性化を阻害する. 天然物による自然免疫と炎症の調節. 第 18 回免疫サマースクール 2016, 2016, 7, 13, 函館.
54. 高津聖志：世界に羽ばたく「薬都とやま」の実現に向けて～製剤開発・創薬研究支援ラボ～. 第 44 回研究会フォーラム富山「創薬」, 2016, 10, 11, 富山.
55. 渡邊康春：メタボリック症候群の基盤病態である内臓脂肪組織の炎症・線維化機序の解析とそれを制御する天然物の探索. 第 9 回北陸合同バイオシンポジウム, 2016, 11, 4, 福井.
56. 長井良憲：自然免疫の光と影～慢性炎症における自然免疫異常と天然薬物による制御～. 第 9 回高サイトカイン血症研究会講演会, 2016, 11, 5, 東京.
57. 高津聖志：未来創薬の実現に向けて：甘草成分イソクイリチゲニンによる内臓脂肪の炎症・線維化の抑制. 和歌山医科大学特別セミナー, 2016, 12, 1, 和歌山.
58. 長井良憲：免疫システムと創薬研究. 平成 28 年度第 5 回富山大学イブニング技術交流サロン, 2016, 12, 2, 富山.
59. 高津聖志：IL-5 を産生する自然リンパ球による炎症制御. 和歌山医科大学特別セミナー, 2016, 12, 15, 和歌山.
60. 渡邊康春：メタボリック症候群の基盤病態である内臓脂肪組織炎症・線維化を制御する自然免疫センサーと免疫細胞の解析. 東北医科薬科大学 第 17 回分子生体膜研究所戦略的研究基盤形成支援事業セミナー. 2017, 3, 16, 宮城.
61. 高津聖志：天然物を活用した炎症・線維化の抑制. 第 19 回免疫サマースクール 2017, 2017, 8, 1, 神奈川.

62. 高津聖志：IL-5 の過去，現在，未来：～重症喘息における 2 型サイトカインの役割～. Scientific Exchange Meeting in 長野 基礎と臨床のトランスレーション：好酸球と重症喘息を考える，2018，2，17，長野.
63. 高津聖志：重症喘息における 2 型サイトカインの役割. 重症喘息領域ワークショップ，2018，2，25，東京.
64. 高津聖志：重症喘息における IL-5 の役割とベンラリズマブ開発の経緯. Fasenra National Symposium，2018，4，8，東京.
65. 高津聖志：重症喘息における 2 型サイトカインの役割. 第 428 回富山県病院薬剤師会 学術講演会，2018，4，14，富山.
66. 高津聖志：IL-5 と好酸球炎症. 第 58 回日本呼吸器学会学術集会イブニングセミナー 12 「重症喘息の病態と治療」，2018，4，28，大阪.
67. 長井良憲：自然免疫受容体 Toll-like receptor 7 を選択的に阻害する低分子化合物を活用した新たな SLE 治療戦略の構築. 平成 30 年度リウマチ月間リウマチ講演会，2018，6，3，東京.
68. 高津聖志：抗体医薬とワクチン 1-免疫の制御機構とワクチン開発-. 富山大学サマースクール，2018，8，1，富山.
69. 長井良憲：Elucidation of novel compounds that regulate innate immune activation. 第 5 回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム，2018，8，23，富山.
70. 本田裕恵：Analysis of Inhibitory Effect of Isoliquiritigenin on NLRP3 Inflammasome Activation. 第 5 回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム，2018，8，24，富山.
71. 高津聖志：富山のくすり学：伝統の継承と創薬・育薬を目指して. 富山県立大学サマースクール，2018，8，27，富山.
72. 長井良憲：自然免疫を標的とした炎症疾患の治療戦略～富山大学寄附講座における産学官連携研究～. 第 48 回研究会フォーラム富山「創薬」，2018，10，9，富山.
73. 高津聖志：IL-5/IL-5 受容体の発見と喘息に対する抗体医薬品の創出. BioJapan 2018 第 2 回バイオインダストリー大賞・バイオインダストリー奨励賞 表彰式・受賞記念講演会，2018，10，10，横浜.

74. 高津聖志：IL-5 の過去、現在、未来 ～重症喘息における役割～ 重症喘息における IL-5 の役割. Scientific Exchange Meeting in Kumamoto, 2018, 10, 27, 熊本.
75. 渡邊康春：The exploration of natural products as inhibitors of obesity-associated adipose tissue inflammation. The Virtual University of Pakistan:International Conference on "Therapeutic Importance of Traditional medicine", 2018, 11, 13, (Lahore, Pakistan) 富山より web 会議.
76. Nagai Y. : Neutrophils in IL-1-mediated adipose tissue inflammation. 第 47 回日本免疫学会学術集会, 2018, 12, 11, 福岡.
77. 高津聖志：IL-5/IL-5 受容体の発見と重症喘息に対する抗体医薬品の創出. BioJapan 2018 第 2 回バイオインダストリー大賞受賞記念講演会, 2018, 12, 15, 富山.
78. 高津聖志：経鼻インフルエンザワクチンのためのアジュバント開発. 第 12 回次世代アジュバント研究会, 2019, 1, 22, 大阪.

講演

1. 長井良憲：TLR シグナルによる造血分化制御機構。佐賀大学医学部分子生命科学講座 免疫学分野シンポジウム，2007，9，29，佐賀。
2. 高津聖志：免疫とアレルギー治療の新しい戦略を求めて：IL-5 の関与とそのなど。富山県ロータリークラブ 卓話，富山市電気ビル，2008，4，21，富山。
3. 高津聖志：免疫と感染のはなし。富山南ロータリークラブ 卓話，富山市電気ビル，2009，2，20，富山。
4. 高津聖志：免疫とアレルギー治療の新しい戦略を求めて：IL-5 の関与とそのなど。富山県ロータリークラブ 卓話，富山市電気ビル，2009，4，21，富山。
5. 高津聖志：天然薬物の免疫制御を活用した医薬品シーズの開発 -TGF- β の活性制御物質の探索。第 9 回国際バイオ EXPO，東京ビックサイト，2010，7，1，東京。
6. 長井良憲：脂肪組織の自然炎症における RP105/MD-1 シグナルと可溶性 MD-1 の機能解析。新学術領域「自然炎症」第 1 回領域班会議，東京大学医科学研究所，2010，7，28，東京。
7. 長井良憲：天然薬物の免疫制御を活用した医薬品シーズの開発。富山市新産業支援センター起業家セミナー，富山市新産業支援センター，2010，8，4，富山。
8. 高津聖志：天然薬物の免疫制御を活用した医薬品シーズの開発。ほくりく健康創造クラスター成果発表会，ホテル日航金沢，2010，9，3，金沢。
9. 渡邊康春：脂肪組織の自然炎症における RP105/MD-1 の機能解析。新学術領域研究「自然炎症」第一回若手ワークショップ，ZAO センタープラザ，2011，1，27，山形。
10. 長井良憲：脂肪組織の自然炎症における RP105/MD-1 シグナルと可溶性 MD-1 の機能解析。新学術領域研究「自然炎症」第 2 回領域班会議，東京大学医科学研究所，2011，6，24，東京。
11. 長井良憲：抗肥満・糖尿病薬シーズ探索のための新規評価系・モデルマウスの開発。第 10 回国際バイオ EXPO バイオアカデミックフォーラム，東京ビックサイト，2011，7，1，東京。
12. 長井良憲：糖尿病・メタボリック症候群を標的にした新規医薬品シーズとモデル動物の開発。ほくりく健康創造クラスター 若手研究者交流会，金沢都ホテル，2011，8，1，金沢。
13. 長井良憲：脂肪組織炎症を制御する RP105/MD-1 の機能解析及び内因性リガンドの探索。新学術領域研究「自

- 然炎症」第3回領域班会議，東京大学医科学研究所，2012，6，26，東京。
14. 柳橋努：B細胞クラススイッチを制御する天然物の探索。ほくりく健康創造クラスター 若手研究者交流会，金沢都ホテル，2012，8，1，金沢。
 15. 本田裕恵：自然免疫を制御する天然物の探索 - 甘草成分による自然免疫抑制機構の解析 -。ほくりく健康創造クラスター 若手研究者交流会，金沢都ホテル，2012，8，1，金沢。
 16. 渡邊康春：肥満に伴う慢性炎症を制御するタンパク質の探索と新規治療薬スクリーニング法の開発。BioJapan 2012 World Business Forum，パシフィコ横浜，2012，10，10-12，横浜。
 17. 高津聖志：免疫と自然炎症の接点。第8回ケミカルメディエーター学術講演会，和歌山医科大学，2012，10，11，和歌山。
 18. 長井良憲：生薬由来の天然物による自然免疫・インフラマソーム活性化制御。佐賀免疫研究会，ホテルニューオータニ佐賀，2013，3，30，佐賀。
 19. 渡邊康春：脂肪組織炎症を制御する自然免疫シグナルと天然薬物の解析。新学術領域研究「自然炎症」+「脂質マシナリー」合同若手ワークショップ，2013，7，3，鳴門。
 20. 長井良憲：自然免疫シグナル分子による摂食反応・肥満制御機構の解明。新学術領域研究「食欲と脂肪蓄積の制御と破綻の分子基盤の解明」第4回班会議，2013，8，22，大阪。
 21. 高津聖志：粘膜免疫。IgA産生の制御とその異常。遅延型アレルギー検査集中セミナー，2014，1，12，東京。
 22. 高津聖志：ワクチン用新規アジュバント開発のための基盤研究。第7回次世代アジュバント研究会，2014，1，21，豊中。
 23. 山崎思乃，宮本朋美，田部井美樹，柳橋努，本田裕恵，松永孝之，長井良憲，高津聖志：粘膜アジュバント開発のための評価系の確立 - 自然抗体産生を指標としたアプローチ。第7回次世代アジュバント研究会，2014，1，21，豊中。
 24. 長井良憲：脂肪組織炎症を制御するRP105/MD-1の機能解析及び内因性リガンドの探索。新学術領域研究「自然炎症」第4回領域班会議，東京大学医科学研究所，2014，1，30，東京。
 25. 生谷尚士：IL-5産生自然リンパ球によるアレルギー疾患発症メカニズムの解明。富山大学学際交流会，2014，3，10，富山。

26. 岡本直樹：Toll 様受容体を標的とした自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発に向けて。第 16 回免疫サマースクール 2014, 2014, 7, 28, 小豆島.
27. 長井良憲：自然免疫シグナル分子による摂食反応・肥満制御機構の解明。新学術領域研究「食欲と脂肪蓄積の制御と破綻の分子基盤の解明」第 5 回班会議, 2014, 8, 22, 大阪.
28. 長井良憲：生活習慣病の慢性炎症状態に着目した創薬シーズの開発。富山大学コラボフェスタ 2014, 2014, 9, 19, 富山.
29. 長井良憲：生活習慣病の慢性炎症状態に着目した創薬シーズの開発。とやま産学官金交流会 2014, 2014, 12, 2, 富山.
30. 渡邊康春：2 型糖尿病の基盤病態である内臓脂肪組織炎症を抑制する生薬成分の検索。平成 27 年度富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー研究成果発表会, 2015, 7, 1, 富山.
31. 長井良憲：2 型糖尿病における膵 β 細胞死または NLRP3 インフラマソーム活性化を抑制しうる化合物シーズを用いた創薬開発。BioJapan 2015, 2015, 10, 14, 横浜.
32. 長井良憲：産学連携を軸とした富山発の膠原病治療薬の開発研究。富山大学産学連携フェスティバル 2015, 2015, 11, 4, 富山.
33. 長井良憲：生活習慣病の慢性炎症状態に着目した創薬シーズの開発。とやま産学官金交流会 2015, 2015, 11, 25, 富山.
34. Yanagibashi T : IL-5-producing ILC2s regulate T cell-independent IgA production in the large intestine. Joint Symposium on Pharmaceutical Research and Drug Development, 2016, 8, 25-26, Basel, Switzerland.
35. Watanabe Y : The exploration of innate immune sensors and natural products That regulate obesity-associated adipose tissue inflammation. Joint Symposium on Pharmaceutical Research and Drug Development, 2016, 8, 26, Basel, Switzerland.
36. Ogasawara M : Betulin restores TGF- β - and PGE₂-induced immunosuppression in vitro and suppresses tumor growth of B16 melanoma in mice. Joint Symposium on Pharmaceutical Research and Drug Development, 2016, 8, 26, Basel, Switzerland.

37. 長井良憲：産学連携を軸とした富山発の膠原病治療薬の開発研究. Toyama Science GALA 2016, 2016, 9, 30, 富山.
38. 岡本直樹：土壌菌由来フニコロシン類緑体が自然免疫受容体 TLR4 を活性化するメカニズムの解明. Toyama Science GALA 2016, 2016, 9, 30, 富山.
39. 渡邊康春：生薬甘草の成分は、内臓脂肪組織の炎症や線維化を抑制する. Toyama Science GALA 2016, 2016, 9, 30, 富山.
40. 高津聖志, 長井良憲, 岡本直樹：免疫難病の治療を目指した天然薬物シーズによる創薬開発. 北陸技術交流テクノフェア 2016, 2016, 10, 20-21, 福井.
41. 長井良憲：免疫系の異常活性化を阻害する天然薬物を用いた新しい膠原病治療薬の開発研究. 公益財団法人田村科学技術振興財団 平成 27 年度研究助成金成果報告会, 2016, 11, 29, 富山.
42. 岡本直樹：新規 TLR リガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発. 北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会 ポスターセッション, 2017, 2, 15, 石川.
43. 高津聖志：薬事研究所って、何をしているの？. 平成 29 年度県民カレッジ富山地区ミニ講座, 2017, 7, 14, 富山.
44. 岡本直樹：新規 TLR リガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発. 北陸ライフサイエンスクラスター最終成果報告会 ポスターセッション, 2017, 7, 31, 石川.
45. 高津聖志：「薬都とやま」の新展開～異分野融合からのイノベーション～：富山県薬事研究所の新たな挑戦. 田中耕一先生とともに「薬都の未来を語る会」, 2017, 9, 26, 富山.
46. 長井良憲：慢性炎症の鍵分子インフラマソームを阻害する甘草成分を活用した抗メタボ甘草エキスの開発. Toyama Academic GALA 2017, 2017, 9, 27, 富山.
47. 渡邊康春：遊離脂肪酸による好中球の内臓脂肪組織浸潤と炎症の惹起・憎悪機構による糖尿病の病態形成機序の解析. Toyama Academic GALA 2017, 2017, 9, 27, 富山.
48. 高津聖志：「くすりの富山」の目指すべき方向について：生産額日本一から 1 兆円産業へ. 第 1 回富山県医薬品業者大会, 2017, 11, 24, 富山.

49. 渡邊康春：視床下部炎症により摂食調節異常を誘導する自然免疫シグナルの機能解析. 東京生化学研究会 平成29年度助成研究報告会, 2018, 3, 2, 東京.
50. 渡邊康春：Crosstalk between neutrophils and adipocytes exacerbates adipose tissue inflammation in progression of type 2 diabetes. 第5回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム, 2018, 8, 23, 富山.
51. 柳橋努：The role of IL-5-producing group 2 innate lymphoid cells in the large intestine. 第5回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム, 2018, 8, 23, 富山.
52. 渡邊康春：肥満に伴う慢性炎症：脂肪組織炎症と視床下部炎症. 免疫バイオ・創薬探索研究講座シンポジウム, 2018, 10, 22, 富山.
53. 長井良憲：自然免疫と生活習慣病・慢性炎症との接点. 免疫バイオ・創薬探索研究講座シンポジウム, 2018, 10, 22, 富山.
54. 生谷尚士：アレルギー性炎症と2型自然リンパ球. 免疫バイオ・創薬探索研究講座シンポジウム, 2018, 10, 22, 富山.
55. 高津聖志：創薬研究に中断なし：免疫・炎症を調節する医薬品シーズの探索研究の12年間. 免疫バイオ・創薬探索研究講座シンポジウム, 2018, 10, 22, 富山.

講 義

1. 高津聖志：免疫と炎症を制御するシグナル - IL-5 とアダプター分子. 富山大学大学院医学薬学研究部 大学院セミナー, 2007, 6, 6, 富山.
2. 高津聖志:免疫調節と造血制御:サイトカインとアダプター分子. 自治医科大学 大学院特別セミナー, 2007, 7, 6, 栃木.
3. 高津聖志：自然免疫と獲得免疫の接点 - IL-5 と結核菌研究から学んだこと. 九州大学医学部 特別講義, 2007, 9, 10, 福岡.
4. 高津聖志：ウイルス感染と免疫 - 自然免疫と獲得免疫の接点. 富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義, 2008, 5, 15, 富山.
5. 高津聖志：自然免疫と獲得免疫の接点 - 結核菌免疫と IL-5 の研究から学んだこと. 金沢大学大学院医学研究科免疫学講義, 2008, 6, 14, 金沢.
6. 高津聖志：免疫の仕組みと創薬探索 - 結核菌免疫 IL-5 の研究から学んだこと. 九州大学大学院医学研究院 特別講義, 2008, 9, 11, 福岡.
7. 高津聖志：結核菌とアジュバント活性. 東北大学グローバル COE Network Medicine 創生拠点 大学院特別セミナー, 2008, 12, 16, 仙台.
8. 高津聖志：ウイルス感染と免疫 - 自然免疫と獲得免疫の接点. 富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義, 2009, 4, 富山.
9. 高津聖志：感染・免疫・炎症の接点 - 結核菌免疫と IL-5 の研究から学んだこと. 金沢大学大学院医学研究科免疫学 特別講義, 2009, 6, 12, 金沢.
10. 長井良憲：病原体センサーによる自然免疫制御. 富山大学大学院医学薬学研究院（薬学）修士課程講義, 2009, 10, 27, 富山.
11. 高津聖志：ウイルス感染と免疫 - 自然免疫と獲得免疫の接点. 富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義, 2010, 4, 30, 富山.
12. 高津聖志：感染・免疫・炎症の接点 - 免疫アジュバントと IL-5 の研究から学んだこと. 金沢大学大学院医学研究科免疫学講義, 2010, 6, 11, 金沢.
13. 高津聖志：免疫と炎症の科学. 放送大学 平成 23 年度第一学期面授業, 2011, 4, 16-17, 富山.

14. 高津聖志：ウイルス感染と免疫。富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義，2011，5，12，富山。
15. 高津聖志：感染・免疫・炎症の接点 - 免疫アジュバントと IL-5 の研究から学んだこと。金沢大学大学院医学研究科免疫学講義，2011，6，17，金沢。
16. 高津聖志：抗体の構造と機能に関する最近の話題。富山県高等学校教育研究会生物部会 平成 23 年度研修会，2011，10，16，富山。
17. 高津聖志：自然免疫と獲得免疫の接点 - IL-5 の研究から学んだこと。東京大学大学院薬学研究科特別講義，2011，11，8，東京。
18. 高津聖志：ウイルス感染と免疫・炎症応答。富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義，2012，5，22，富山。
19. 高津聖志：自然免疫と炎症の接点 - 免疫アジュバントと IL-5 の研究から学んだこと -。金沢大学医学部免疫学講義，2012，6，8，金沢。
20. 高津聖志：免疫関係の医薬品開発と研究の最前線 - 免疫・炎症とその制御 -。富山大学薬学部「富山のくすり学」講義，2012，11，12，富山。
21. 長井良憲：自然免疫によるウイルス感染防御。富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義，2013，6，25，富山。
22. 高津聖志：自然免疫と炎症の接点 - 免疫アジュバントと IL-5 の研究から学んだこと -。金沢大学医学部免疫学講義，2013，6，28，金沢。
23. 高津聖志：「くすりの富山」を発展させる医薬品開発研究の新展開を求めて。富山大学大学院医学薬学研究部薬学部講義，2013，11，18，富山。
24. 高津聖志：サイトカインによる免疫・炎症の制御：IL-5 の研究から学んだこと。金沢大学医学部免疫学講義，2014，6，30，金沢。
25. 高津聖志：ウイルス感染と免疫：粘膜ワクチンとアジュバント。富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義，2014，7，9，富山。
26. 高津聖志：「くすりの富山」を発展させる医薬品開発研究の新展開を求めて。富山大学大学院医学薬学研究部薬学部講義，2014，11，5，富山。
27. 長井良憲：自然免疫によるウイルス感染防御。富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義。2015，5，27，富山。

28. 高津聖志:ウイルスに対する免疫の誘導. 富山大学大学院医学薬学研究部ウイルス学講義, 2015, 5, 27, 富山.
29. 高津聖志:免疫と炎症の接点 - IL-5 とイソリクイリチゲニンの研究から学んだこと. 金沢大学医学部免疫学講義, 2015, 6, 26, 金沢.
30. 高津聖志:「くすりの富山」を発展させる医薬品開発研究の新展開を求めて:免疫・炎症の制御と天然薬物のシーズ探索. 富山大学薬学部講義, 2015, 12, 8, 富山.
31. 長井良憲:慢性炎症における自然免疫の役割:寄附講座における基盤研究と創薬研究. 富山大学薬学部大学院修士課程講義, 2015, 12, 15, 富山.
32. 長井良憲:自然免疫によるウイルス感染防御. 富山大学医学部ウイルス学講義, 2016, 4, 22, 富山.
33. 高津聖志:抗ウイルス免疫に関する最近の話題「それはありえないよ、常識では」に挑戦した研究. 富山大学医学部ウイルス学講義, 2016, 7, 6, 富山.
34. 高津聖志:くすりの富山と医薬品開発研究の新展開を求めて - 免疫・炎症を制御する天然薬物の探索 -. 富山大学薬学部講義, 2016, 11, 21, 富山.
35. 長井良憲:自然免疫によるウイルス感染防御. 富山大学医学部ウイルス学講義, 2017, 1, 10, 富山.
36. 高津聖志:「くすりの富山」と医薬品開発研究の新展開を求めて~異分野融合からのイノベーション~. 富山大学薬学部講義, 2017, 11, 6, 富山.
37. 長井良憲:自然免疫によるウイルス感染防御. 富山大学医学部ウイルス学講義, 2018, 1, 17, 富山.
38. 高津聖志:「常識では考えられない研究」に挑戦した経験 IL-5 とレセプターの発見→好酸球性喘息の治療へ TGF- β による IgA 産生増強. 富山大学医学部ウイルス学講義, 2018, 1, 17, 富山.
39. 長井良憲:自然免疫シグナル制御と創薬への応用. 大学院薬学修士課程分子疾患制御学特論, 2018, 5, 18, 富山.
40. 高津聖志:「くすりの富山」と医薬品開発研究の新展開を目指して. 富山大学薬学部講義, 2018, 11, 21, 富山.
41. 高津聖志:IL-5/IL-5 受容体の発見と重症喘息に対する抗体医薬品の創出. 富山県立大学工学部医薬品工学科免疫学講義, 2019, 1, 17, 富山.

特許出願・取得

これまでの特許出願

1. 特開 2011-30448 「トランスジェニック非ヒト哺乳動物およびその利用」
出願日：2009年7月30日（特願 2009-177159）
発明者名：高津聖志，生谷尚士，高木智（国立国際医療研究センターとの共同出願）
2. 特開 2012-010597 「リガンド探索用細胞，リガンド探索方法，抗肥満薬または抗メタボリックシンドローム薬探索用細胞」
出願日：2010年6月29日（特願 2010-147034）
発明者名：高津聖志，長井良憲
3. 特開 2014-094917 「インフラマソーム活性制御剤」
出願日：2012年11月9日（特願 2012-247766）
発明者名：高津聖志，平井嘉勝，長井良憲，本田裕恵，松永孝之（富山県との共同出願）
4. 特開 2015-050941 「ヒト肺高血圧症に類似した病態を示すモデル動物及びその作成方法」
出願日：2013年9月5日（特願 2013-183870）
発明者名：生谷尚士，高津聖志，常山幸一，川口誠，福岡順也（長崎大学との共同出願）
5. 特開 2015-091785 「トール様受容体 4 活性化作用を有するフニコロシン誘導体及びその用途」
出願日：2013年9月30日（特願 2013-203801）
発明者名：藤本ゆかり，深瀬浩一，高津聖志，長井良憲，岡本直樹（大阪大学，テイカ製薬株式会社との共同出願）
6. 特願 2013-271897 「IL-1 及び TNF 活性阻害剤」
出願日：2013年12月27日
発明者名：高津聖志，平井嘉勝，長井良憲，松永孝之（富山県との共同出願）
7. 特願 2014-201593 「トール様受容体 4 活性化作用を有するフニコロシン誘導体及びその用途」
（特願 2013-203801 を基礎とする優先権主張出願）
出願日：2014年9月30日
発明者名：藤本ゆかり，深瀬浩一，高津聖志，長井良憲，岡本直樹
（大阪大学，テイカ製薬株式会社との共同出願）
8. PCT 国際出願（PCT-TU25-95）「IL-1 及び TNF 活性阻害剤」（特願 2013-271897 を基礎とする PCT 国際出願）
出願日：2014年12月24日
発明者名：高津聖志，平井嘉勝，長井良憲，松永孝之（富山県との共同出願）

5th Biannual International Eosinophil Society (第5回国際好酸球学会) Paul Ehrlich賞

受賞者 | 高津 聖志

日付 | 2007年7月

これまでのIL-5研究の功績が讃えられ、国際好酸球学会でPaul Ehrlich賞を受賞しました。Paul Ehrlichは好酸球を発見したノーベル賞受賞者で、同氏の名前が付いたPaul

Ehrlich賞は、好酸球や関連のアレルギー性疾患の研究の進展に多大な貢献をした個人に贈られます。

第二章 研究活動 受賞・表彰

**国際好酸球学会で
特別賞を受賞した**

高津 聖志さん



発見時「心に光を感じた」

アレルギーに関係する体内物質の一種「インターロイキン（IL）5」を発見した功績をたたえられ、七月に米国で開かれた国際好酸球学会で、好酸球を発見したノーベル賞受賞者、ポール・エーリッヒにちなんで特別賞を受賞した。「サイエンスは競争の世界。努力もしたが、運もあった」と振り返る。

人 けさの

富山大薬学部、同大学院を経て、昭和四十七年、大阪大学大学院の時、体内で抗体の生産量を高める物質を探す過程で、偶然IL-5の存在らしきものに気付いた。「あの時、『あれっ』と思い、心にわずかな光を感じた」と言う。それから十四年後、熊本大教授時代にIL-5の遺伝子を取り出し、抗体を作ることに成功。IL-5が、ぜんそくなどを引き起こすと考えられている細胞「好酸球」を増やすことも分かった。「研究室のメンバーを、沈む泥舟に乗せてはいけ

富山大薬学部、同大学院を経て、四月から県薬事研究所長を務める。「免疫学やがん研究を多くの人に知ってもらうため、公開講座を開きたい」と意気込む。

富山大客員教授、東京大名誉教授。富山市西田地方で妻と暮らす。長野県出身、六十二歳。（新開香織社会部記者）

ないと、日々の研究や指導に必死だった」

IL-5と結合して好酸球を増殖させる受容体も発見した。七月の学会では米国の企業が、ぜんそく治療薬の研究で、この受容体の抗体がごく微量でも、好酸球を減らす効果があったと報告。「将来、ステロイド系の薬の使用量を減らせるかもしれない」と期待する。

東京大医科学研究所教授を経て、四月から県薬事研究所長を務める。「免疫学やがん研究を多くの人に知ってもらうため、公開講座を開きたい」と意気込む。

北日本新聞 2007年4月15日 (2面)

第57回富山新聞文化賞

受賞者 | 高津 聖志

日 付 | 2010年3月11日

免疫学の権威として県の薬事行政に貢献し、県薬業連合会とスイス・バーゼルの交流に助力するなど、医薬品産業の振興に尽力したとして、受賞しました。



第57回富山新聞文化賞贈呈式にて、飛田秀一富山新聞社長より、賞状、記念の盾を贈られる高津客員教授。



高津客員教授御夫妻をお招きし、研究室員、富山県薬事研究所所員で富山新聞文化賞受賞を祝い、祝賀会を開催。



7氏の功績をたたえた富山新聞文化賞・芸能賞・スポーツ賞の贈呈式
富山市内のホテル

富山新聞

富山新聞社
〒930-8520富山市大手町5番1号
番号案内(076)491-8111
金沢本社 番号案内(076)263-2111
〒920-8588 金沢市南町2番1号
©北陸新聞社 2010年

ホームページ
<http://www.toyama-hokkoku.co.jp/>

7氏の功績をたたえ

富山新聞文化賞・芸能賞・スポーツ賞

富山で贈呈式

富山新聞社が富山県内の文化、芸能、スポーツの各分野の振興に貢献した人々を顕彰する第57回文化賞、第40回芸能賞、第30回スポーツ賞の贈呈式は11日、富山市のANAクラウンプラザホテル富山で行われた文化賞の2氏、芸能賞の2氏、スポーツ賞の3氏に飛田秀一社長から賞状、記念の盾やトロフィー、副賞が贈られ、受賞者は郷土の発展に向けて決意を新たにしました。

【30面に受賞者の業績】

「高峰映画で富山元気に」

祝賀会でふるさと教育の教材

贈呈式に続き、祝賀 20日から富山、石川で 館で上映される。とも 会が開かれ、富山県内 始まることに触れ、映 画は、内山邸や水見お さまの代表ら約 150人が受賞者を祝 福した。

あいさつに立った飛 田社長は、高岡ゆかり の世界的化学者、高峰 さとの魅力を見つめ 讓吉博士を描く映画、直してほしい」と述べた。

ムライ化学者高岡讓吉 の生涯」(同製作委 員会・富山・北國新聞 社製作)の先行上映が 行われ、現地の多くの映画

飛田社長 祝賀会 20日から富山、石川で 館で上映される。とも 会が開かれ、富山県内 始まることに触れ、映 画は、内山邸や水見お さまの代表ら約 150人が受賞者を祝 福した。

あいさつに立った飛 田社長は、高岡ゆかり の世界的化学者、高峰 さとの魅力を見つめ 讓吉博士を描く映画、直してほしい」と述べた。

ムライ化学者高岡讓吉 の生涯」(同製作委 員会・富山・北國新聞 社製作)の先行上映が 行われ、現地の多くの映画



県内各界の代表者らが出席した祝賀会

志氏(65)富山県業 務所長。 芸能賞が▽野尻博氏 (60)作芸人・野尻博氏 所社長▽若林美智子氏 (39)胡弓奏者・越中 弦奏楽若林流宗家。 スポーツ賞が▽多田 慎一氏(65)高岡市ス ポーツ少年団本部長▽ 安土良人氏(58)水見 富山で撮影された場 面がたくさん登場す る。映画の本筋とも 田社長は、高岡ゆかり の世界的化学者、高峰 さとの魅力を見つめ 讓吉博士を描く映画、直してほしい」と述べた。

ムライ化学者高岡讓吉 の生涯」(同製作委 員会・富山・北國新聞 社製作)の先行上映が 行われ、現地の多くの映画

と建設的な評論を通じ の分野で県民の模範と して、富山の発展に尽く して活躍されており、 したい」と述べ、受賞 後進の育成にも期待し たい。西頭徳三富大 学長は「郷土に根差し て活動に励む受賞者は 県民に勇気を与えてく 来る。来賓の石井隆一知事 などは祝辞を贈 った。

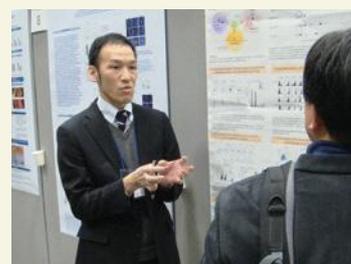
日本免疫学会 Melchers Travel Award

受賞者 | 柳橋 努

日 付 | 2011年11月19日

演 題 | The major IL-5-producing cells in the intestine
and lung c-kit⁺ CD3ε⁻ cells

Melchers Travel Award は、前バーゼル免疫学研究所長 Fritz Melchers 博士御夫妻から日本免疫学会の参加を支援頂く寄金です。本賞により、第 40 回日本免疫抜海学術集会において、柳橋研究員（当時）は口頭発表ならびにポスター発表をおこないました。



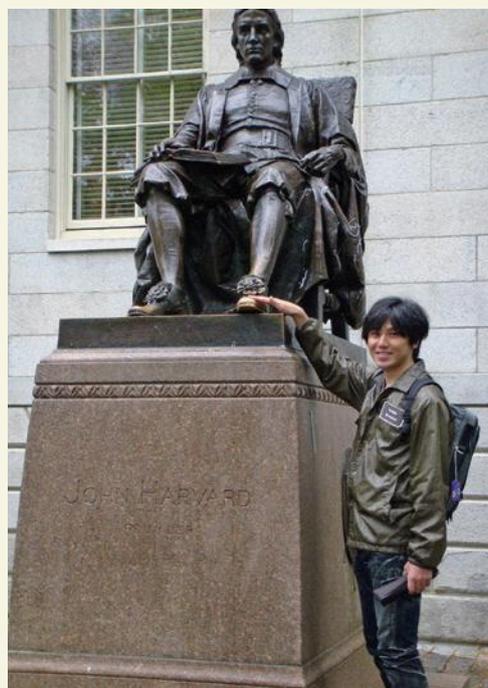
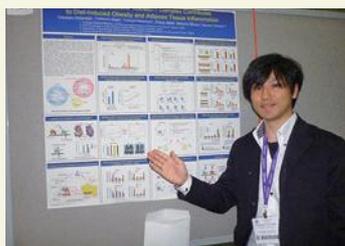
日本免疫学会 平成24年度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award

受賞者 | 渡邊 康春

日 付 | 2012年4月2日

演 題 | The radioprotective 105/MD-1 complex
contributes to diet-induced obesity and adipose
tissue inflammation

日本免疫学会の名誉会員である岸本忠三先生のご支援を受け、将来国際舞台で活躍する免疫学研究者の育成を推進するため、Tadamitsu Kishimoto International Travel Award が設立、日本免疫学会の若手会員が海外で研究発表をご支援頂く寄金です。本賞により、渡邊研究員（当時）は 2012 年 5 月 4 日から 8 日にかけてアメリカ・ボストンで開催された「Immunology 2012™99th Annual Meeting The American Association of Immunologists」に参加し、口頭発表ならびにポスター発表をおこないました。



ハーバード大学創設者ジョン・ハーバード氏の銅像の前で撮影。

富山県ひとづくり財団 平成24年度とやま賞

受賞者 | 長井 良憲

日付 | 2012年5月24日

とやま賞は、富山県の将来を担う有為な人材の育成のため、学術研究や文化・芸術、スポーツ等の分野において、顕著な業績を挙げ、かつ将来の活躍が期待される人に贈られるものです。長井客員准教授（当時）の自然免疫・慢性炎症の制御における病原体認識センサーの研究が評価され受賞しました。



石井知事から、賞状を贈られる長井客員准教授（当時）



贈呈式会場である富山国際会議場で撮影。

とやま賞 田知本選手、らら氏
財団 ひとづくり 財団 来月24日に表彰式

県ひとづくり財団は、27日、今年度の「とやま賞」を、富山大学院医学薬学研究部の長井良憲客員准教授、女子柔道の田知本愛選手（総合警備保障）らら氏に贈呈すると発表した。賞状と奨励金100万円の贈呈式は5月24日、富山市の富山国際会議場で行われる。

とやま賞は置原100年を記念し、県の将来を担う人材育成のため1984年に創設された。今年度で29回目。受賞者の業績などは次の通り。

- ▽長井良憲氏(44) 富山県在住、富山大学院医学薬学研究部客員准教授「自然免疫・慢性炎症の制御における病原体認識センサーの研究」
- ▽堀野良和氏(37) 富山県在住、富山大学理工学部助教「アリルケイ素化合物の活性化を鍵とした革新的分子変換反応の創製」
- ▽小林大祐氏(27) 富山県出身、早稲大学客員准教授「両隣関係の活動及び各種コンクールの人賞」
- ▽田知本愛氏(23) 射水市出身、総合警備保障「女子柔道78kg超級での各種世界大会における活躍」

富山新聞 2012年4月28日(2面)



オークスカナルパークホテル富山において、教室員と現業事総合研究開発センター職員で、祝賀会を開催。

第33回日本炎症・再生医学会 ポスター発表優秀演題賞

受賞者 | 長井 良憲

日付 | 2012年7月6日

演題 | TLRファミリー分子RP105/MD-1は高脂肪食誘発性の肥満、
脂肪組織炎症、インスリン抵抗性を制御する



日本免疫学会 功労会員

受賞者 | 高津 聖志

日付 | 2012年10月1日

第41回日本免疫学会学術集会において、日本免疫学会の発展に多大な貢献をした個人が選出される功労会員に、高津客員教授が任命されました。



齊藤隆日本免疫学会理事長から、功労会員記が授与されました。



免疫学会に参加した教室員と高木智先生（国立国際医療研究センター）、菊池雄士先生（いわき明星大）など東京医科学研究所の高津研究室 OB・OG で、神戸にて祝賀会を開催しました。

第78回日本インターフェロン・サイトカイン学会, 第21回マクロファージ分子細胞生物学 国際シンポジウム 合同学術集会 Young Investigator Award

受賞者 | 渡邊 康春

日付 | 2013年5月21日

演題 | Regulatory mechanisms of Radioprotective 105/MD-1 expression in inflammatory macrophages
in the adipose tissue



第34回 日本炎症・再生医学会ポスター発表 優秀演題賞

受賞者 | 生谷 尚士

日付 | 2013年7月3日

演題 | 腸管免疫におけるIL-5生産ILC2の
役割の解明



第35回 日本炎症・再生医学会ポスター発表 優秀演題賞

受賞者 | 生谷 尚士

日 付 | 2014年7月2日

演 題 | IL-33に誘導される血管壁肥厚とIL-5生産ILC2

昨年（第34回）に引き続き、生谷客員講師（当時）の2年連続受賞です。



第16回富山県薬学大会 石坂久夫薬学奨励賞

受賞者 | 高津 聖志

日 付 | 2014年10月18日

第16回富山県薬学大会において、高津客員教授が和漢薬等に関する試験研究及びスイス・パーゼルとの国際交流などに尽力し、富山県の薬業振興に貢献したことから、「石坂久夫薬学奨励賞」を受賞しました。



第36回 日本炎症・再生医学会ポスター発表 優秀演題賞

受賞者 | 長井 良憲

日付 | 2015年7月22日

演題 | 遊離脂肪酸誘発性の内臓脂肪組織炎症モデルに
おける好中球とIL-1 β の機能解析

2012年の長井客員准教授（当時）、2013年と2014年の
生谷客員講師（当時）に続く、研究室員4年連続の受賞です。



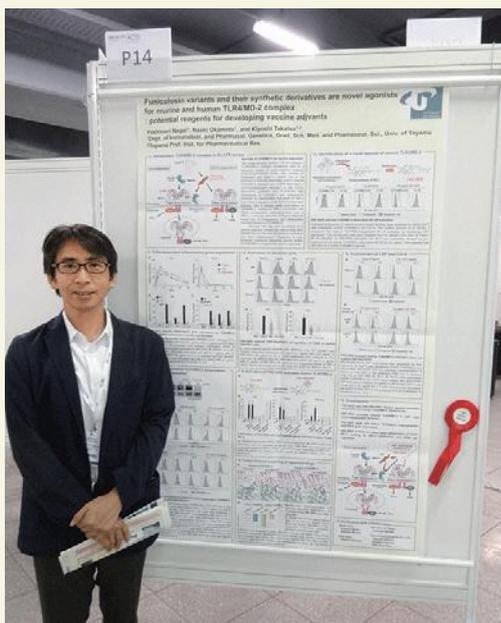
Innovation Forums Basel Life 2017ポスター発表 Poster Award (3rd prize) 受賞

受賞者 | 長井 良憲

日付 | 2017年9月12日

演題 | Funiculosin variants and their synthetic derivatives are novel agonists for murine and human TLR4/MD-2 complex : Potential reagents for developing vaccinc adjuvants

スイス・バーゼルで開催された「Basel Life 2017 -Innovation Forms-」で
ポスター発表し、受賞しました。



日本リウマチ財団学術助成 採択「塩川美奈子・膠原病研究奨励賞」受賞

受賞者 | 長井 良憲

日 付 | 2018年6月3日

本賞は、膠原病と闘い亡くなられた故塩川美奈子様ご本人およびご遺族の意向により設けられたもので、膠原病の病因、診断・治療、予防・疫学等に関する独創的な学術調査研究に従事する研究者に贈られるものです。課題名「自然免疫受容体 Toll-like receptor7 を選択的に阻害する低分子化合物を活用した新たな SLE 治療戦略の構築」が評価されて受賞しました。



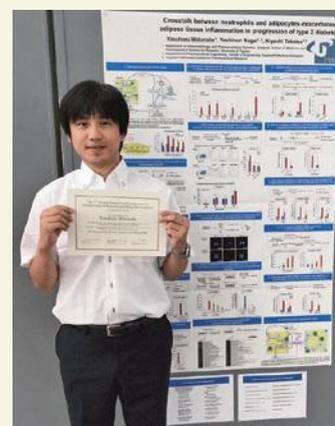
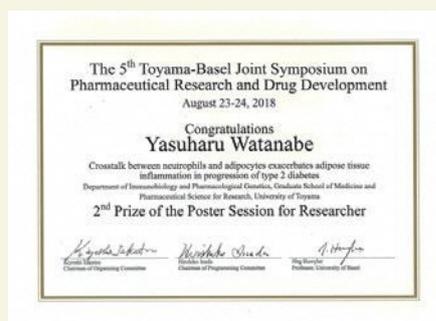
第5回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム Poster Award (2rd prize) 受賞

受賞者 | 渡邊 康春

日 付 | 2018年8月24日

演 題 | Crosstalk between neutrophils and adipocytes exacerbates adipose tissue inflammation in progression of type 2 diabetes

第5回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウムでポスター発表し、受賞しました。



一般財団法人バイオインダストリー協会 「第2回バイオインダストリー大賞」受賞

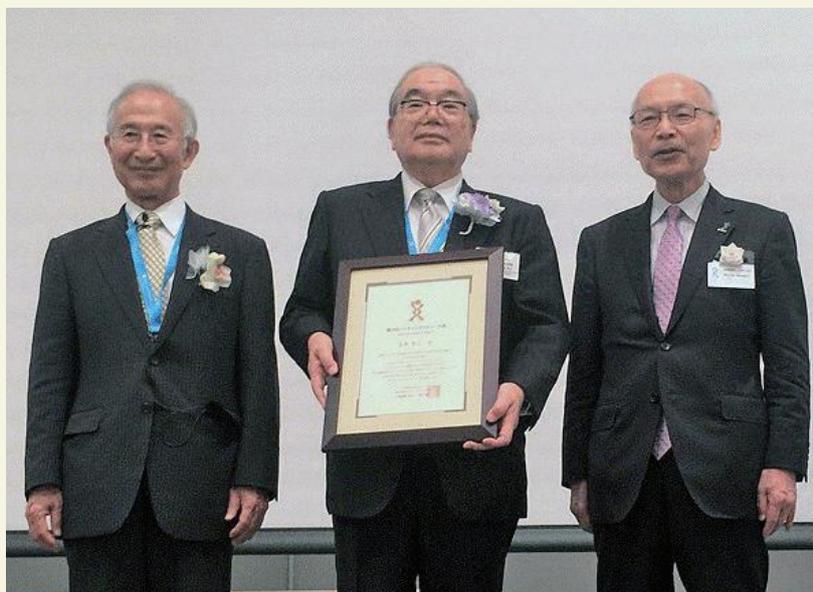
受賞者 | 高津 聖志

日付 | 2018年10月10日

IL-5/IL-5 受容体の発見と重症喘息に対する抗体医薬品を創出し、国内外のバイオインダストリーの発展に大きく貢献したとして、高津聖志客員教授が第2回バイオインダストリー大賞を受賞しました。同大賞は、2017年、(一財)バイオインダストリー協会が30周年を迎えるのを機に、次の30年を見据えて“最先端の研究が世界を創る—バイオテク

ノロジーの新時代—”をスローガンとして、新たにスタートしたものです。バイオインダストリーの発展に大きく貢献した、また今後の発展に大きく貢献すると期待される顕著な業績が表彰されます。

表彰式及び受賞記念講演会は、パシフィコ横浜（横浜市）で開催された「BioJapan 2018」において行われました。



表彰式での高津 聖志 客員教授(中央)と清水 昌 バイオインダストリー協会会長(左)、相澤益男 選考委員長 (右)



「富山県特別功労感謝状」贈呈

受賞者 | 高津 聖志

日付 | 2018年12月5日

バイオ産業の発展や県内の医薬品産業の発展と人材育成に著しく貢献したとして、高津聖志教授に「富山県特別功労感謝状」が贈られました。感謝状は県の知名度や産業経済の向

上に特に寄与した個人や団体に贈られ、高津客員教授は4人目となります。また贈呈式後、第2回バイオインダストリー大賞の受賞の記念講演会と祝賀会が開催されました。



石井知事から感謝状を受け取る高津客員教授



記念講演には、県内企業、大学関係者、高校生が参加しました。

高津氏に県特別功勞

県薬事総研所長「新たな力湧いた」

バイオ産業分野や県内の医薬品産業の発展に貢献したとして、富山県は15日、県薬事総合研究開発センターの高津聖志所長(74)に県特別功勞感謝状を贈った。感謝状は県の知名度や産業経済の向上に特に寄与した個人や団体に贈られ、今回で4人目。富山市の富山国際会議場で贈呈式が行われ、高津所長は「受賞を機に新たな力が湧いてきた」と喜ぶ飛躍を誓った。



高津所長は今年、バイオ産業の発展に貢献した研究者に贈られる「第2回バイオインダストリー大賞」を受賞。「世界の薬都」であるスイス・バーゼル地域と県との協定や、県内の産官学が連携して医薬品産業の振興や人材の育成、確保に取り組む「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム(共同体)の国の事業採択などに尽力し、県の医薬品産業の発展に貢献した。

贈呈式では、石井隆一知事が、同センターの利用件数で、11年前の高津所長の就任から昨年までに約17倍に増加したと紹介し、「県の医薬品産業の発展や、次

石井知事から感謝状を受け取る高津所長(右) 富山市の富山国際会議場

の時代を担う若い人材の育成などの点で大いに活躍をいただきたい」と激励し、

高津所長に感謝状を手渡した。高津所長は、富大で主宰する県寄付講座での研究や同センターの研究設備の充実、スイス・バーゼル大との交流などを振り返り、「多くの方の支援と協力のたまものだと思う。今後も力を

尽くしたい」と謝辞を述べた。贈呈式の後、バイオインダストリー大賞の受賞を記念した講演会も開かれ、県内製薬企業や大学関係者、高校生ら約150人が参加した。高津所長は、タンパク質の一種「IL-5」が、

ぜんそくを引き起こす細胞「好酸球」の増殖に関わることを突き止め、ぜんそくに対する抗体医薬品の開発に携わった経験を紹介し、「強い誇りと使命感を持ち、温故知新、継承的創業の精神を持つことが重要」と強調した。



ANA クラウンプラザホテル富山での祝賀

富山新聞 2018年12月16日(24面)